



2012年6月発行 NO. 15

《編集・連絡先》

広島市地球温暖化対策地域協議会

[事務局] 広島市環境局温暖化対策課

広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

TEL 082-504-2185

FAX 082-504-2229

E-mail: ondanka-t@city.hiroshima.lg.jp

広島市環境局長あいさつ

このたび、4月1日付けで環境局長に就任しました永谷尚之でございます。

「広島市地球温暖化対策地域協議会」の日ごろの熱心な取組に対しまして、深く感謝申し上げますとともに、本市の環境行政に対するご理解、ご協力に対しまして、厚くお礼申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災によりまして、我が国の温暖化対策は見直しが行われようとしており、市民の一人一人の温暖化対策に対する取り組みは、今後ますます重要になっていきます。

こうした中、貴協議会では、市民や中小企業者に対する省エネアドバイスや啓発活動につきまして、大変熱心に取り組んでいただいております。その役割は今後より一層重要になっていくと考えています。

本市といたしましても、一人でも多くの市民や事業者へ、地球環境問題に目を向けていただき、地球温暖化防止に向けた行動をとっていただくように、取り組んでまいります。

今後、皆さんの活動がますます多くの市民の方々に広がりまして、貴協議会がさらなる発展をいたしますことを願っています。



平成24年度 協議会総会開催

5月14日に広島市役所14階の会議室において24年度の総会が開催され、活動報告・決算と活動計画・予算が議案どおり承認されました。

また、今回は役員改選の年にあたり、新たな役員を選任してのスタートとなりました。

事務局は、広島市の組織改正のため、環境局温暖化対策課に変更となりました。

（平成23年度の活動の中から、従前と変わった取り組み事項など）

「家庭・消費者WG」 ひろしま温暖化ドクター事業において、初めての取り組みとして3月にモニター相談会を実施して、モニターの疑問や質問に答えました。

草の根診断事業として、東区早稲田女性会との連携で省エネ診断を実施したり、省エネグッズの展示などで活動の幅を広げて行きました。

「イベントWG」 協議会のはっぴやのぼりを製作しました。「温暖化ストップ！フェア in ひろしま」は11月広島産業会館において、エコイノベーションメッセとの同時開催で実施しました。

「事業WG」 広島市中小企業支援センターと連携して、事業所の省エネ診断を実施しました。

「教育・学習WG」 高校生環境ネットワーク広島として、太田川学術研究をテーマに水質調査やカヌー体験を実施しました。

「eco ちゃりWG」 自転車でショッピングアンケートを2店舗(計5回)実施し取りまとめました。

広島市の担当課に「のりんさいくるHIROSHIMA」への提言を提出しました。

「広報WG」 情報誌発行の中で、事業者会員紹介のコーナーを開始しました。

(平成24年度の活動計画の概要)

各WG共、継続した活動を実施しますが、今年度は、新たに「緑のカーテン事業」に取り組んでいきます。

その他、活動の推進検討事項の主なものは、次のとおりです。

「家庭・消費者WG」エコ川柳事業が 10 年目になるため、過去の入選作とりまとめを検討します。

「イベントWG」 11月23日の温暖化ストップ・フェアに対する企画とPRの充実を行います。

「事業WG」 中小企業に対して省エネ効果＝経済メリットを示した提案活動を実施します。

「教育・学習WG」 小・中学生に対する環境教育にも取り組みます。

「eco ちゃりWG」 7月の市民フォーラム開催とその後の提言活動に向けて取り組みます。

4月から6月の活動

○イベントWG:

- ・環境の日ひろしま大会
6月3日 省エネ診断とパネル展示

○家庭・消費者WG:

- ・ひろしま温暖化ドクター事業一般参加者募集
6月1日～6月15日 応募者 47名
- ・草の根省エネ診断事業
4月21日 吉島公民館
6月3日 環境の日ひろしま大会
6月24日 東区女性会まつり
- ・エコ川柳事業 23年度入選作品の紹介
シャレオのデジタルサイネージに掲載
(7月中旬まで)

○教育・学習WG:

- ・4月8日 カヌー体験

7月の活動予定

皆さんの積極的な参加をお願いします。

○家庭・消費者WG:

- ・ひろしま温暖化ドクター事業
7月24日 新規モニター説明会
広島市留学生会館
- ・エコ川柳事業
7月15日～8月31日 募集
応募要旨は、市民と市政 7/15 月号参照

○eco ちゃりWG:

- ・7月8日 14時～16時30分
まちづくり市民交流プラザ
マルチメディアスタジオ
「自転車のまちづくりを eco の視点から
考える市民フォーラム」



活動詳細レポート

「環境の日」ひろしま大会

環境の日は、あらためてここに記すまでもありませんが、1972年6月5日からスウェーデンのストックホルムで開催された「国連人間環境 会議」を記念して設けられたものであり、わが国では環境基本法の第8条において6月5日を環境の日と定めています。

今年は6月3日が日曜日であったので、同日「環境の日ひろしま大会」が広島県庁前広場を会場として開催されました。

広島市地球温暖化対策地域協議会は、各WGの活動をパネルによって紹介するとともに、省エネ診断と省エネグッズの展示を行いました。さらに、6月1日～15日を募集期間とする、ひろしま温暖化ドクター事業のモニター家庭の募集及び7月8日開催予定のeco ちゃりWGの「市民フォーラム」への参加を積極的に呼びかけました。

昨年度との違いは、省エネグッズの展示です。省エネグッズの展示は、昨年度からいろいろなステージで実施してきていますが、省エネルギーに関心の深い市民には好評であり、今後一層の充実が期待されます。省エネ診断は、合計25名の受診者がありました。昨年度と比べると被験者数は減少しましたが、他のブースでは省エネ診断を実施していないので、継続するとともに温暖化ドクター事業との連携によって、啓発事業からCO₂排出量削減の定量化へと結び付けて行く活動の展開が必要と感じました。



協議会の事業者会員紹介(4)

株式会社フジ

株式会社フジは今年で創業 45 周年を迎えます。これも、お客様をはじめ地域の皆様方のおかげと感謝いたしております。

株式会社フジは創業以来、社会に貢献し、地域の豊かなくらしを実現する企業を目指してまいりました。

環境問題への取り組みも目指すものは一緒です。レジ袋の持参率向上やごみの減量への取り組み、牛乳パックなどのリサイクル可能なものの回収などは、販売者としての責任であり、その責任を果たすことは、地域の豊かなくらしに繋がるものと考えております。

具体的には、社内に環境委員会を設け、全社的、組織的に取り組んでいます。

そして、テーマを温暖化防止・省資源化・廃棄物削減・社会貢献の四つとし、それぞれ課題を設定し、取り組んでいます。

広島市地球温暖化対策地域協議会は、市民・事業者・環境 NPO・広島市が協力して、温暖化対策に取り組んでおられます。

地域が一体となって取り組む活動に対し、当社は大いに賛同しており、今後とも積極的に参加、協力していきたいと考えております。

(店舗訪問記)

昨年リニューアルオープンしたフジグラン広島さんは、エコが盛りだくさんです。

中でも、私の一押しはトイレ。とっても節水型。汚れもつきにくくお掃除も簡単。そうぞ我が家も早く取り入れたいアイテムです。お店にはエコガイドが置いてあり、省エネ設備も多く取り入れておられることを知りました。

のりんさいくるサイクルポートや電気自動車充電スタンドもあります。(Y.S)



今年の夏の節電対策

国のエネルギー環境会議において、中国電力供給地域においても、2010 年の夏に比べて5%以上の節電に取り組むことが決定されました。

その後、大飯原子力発電所第3号機のフル稼働になる段階で節電目標が緩和されることが決定されましたが、ここでは5%の節電を考えたいと思います。中国地域において5%というのは、具体的には 60 万kWになります。

また、節電要請期間と時間については下記のようになっています。

・節電要請期間・時間:

7月2日～9月7日の平日(ただし8月13日～15日を除く)、9時00分～20時00分

*数値目標を伴わない節電要請期間は9月28日まで(中国電力でんき予報も始まります。)

《節電対策》

全体の電力需要は午後2時～3時頃がピークになりますが、家庭における電力使用量は夕方5時頃から7時頃が多くなりますので、二つの時間帯における節電対策を考える必要があるでしょうが、ここではモデルを簡単に考えてみたいと思います。

広島市内の電気ガス併用の戸建住宅に住む4人家族を例に考えます。当協議会の温暖化ドクター事業のデータによれば、上記家族の8月の平均電気使用量は507kWhです。1日の電気使用量は16.4kWhとなり、1日の活動時間を17時間とすれば1時間の電気使用量は約1kWhとなります。5%の節電量は(1000×0.05=)50Whとなります。

これは2灯式の蛍光灯1基に概略相当します。他の電気器具では次のようです。

- ・オーブントースター等(1kW)は3分使うと50Wh
- ・液晶テレビ(3TV型の定格消費電力は104～190W)は30分～15分で約50Wh
- ・エアコン(8～12畳用で消費電力465～650W)は設定温度に到達後部分負荷運転となりますので、窓に緑のカーテンなどがあると、流入熱が減少して消費電力が減少します。



そのほか節電の方法はいろいろ考えられますので、工夫して節電してください。

＜我が家の節電方法＞

会員からの声より

- ・省エネ診断項目の実行
- ・広島市の特徴である風を室内に取り込む
- ・家族が同じ部屋で過ごす
- ・ベランダに打ち水をする
- ・冷房の効いている公共施設や買い物で過ごす
- ・日中、電力を多く使う電
気器具は使用しない
(掃除機は休日に使用し、
日常はモップ等で)
- ・緑(植物)と音(風鈴)も活用
する



広島市からのお知らせ

「広島市住宅環境性能向上補助金」の募集について

住宅の省エネ化を進めるため、太陽光発電システムなどの設置や、改修を行う際の断熱構造化工事などの工事費の一部を助成します。

【対象工事】

本市の区域内に住所を有する個人又は管理組合が、次の区分ごとの工事につき1件申請することができます。

- ①未使用の太陽光発電システムを設置。
(未使用の太陽光発電システムを設置した建売住宅の購入も含む)
- ②未使用の太陽熱利用システムを設置。
(未使用の太陽熱利用システムを設置した建売住宅の購入も含む)
- ③住宅の屋根、外壁、天井、内壁または床のいずれかに断熱材を設置。(厚さが20mm以上でフロン類を使用していないもの)
- ④住宅の1居室内のすべての外部に面する窓に複層ガラスを設置。
(総設置面積が7㎡以上(真空ガラスの場合は5㎡以上。)、インナーサッシを含む)

【補助対象】個人または管理組合

※工事着工後の申請は不可

【補助額】1件につき4万円。募集枠 2,860 件。先着順。

【申込】所定の申請書を、書留、特定記録またはレターパックで温暖化対策課へ。

申請書は、同課、区役所、出張所などで。市HPからも入手可。

【問】同課 (Tel 504-2185 fax 504-2229)

協議会活動参加へのお誘い

温暖化は私たち「みんなの問題」。私たちとともに温暖化防止活動に取り組みましょう。協議会では、あなたの参加を待っています。

編集後記

第15号はいかがでしたか。載せてほしい情報やご意見などをお寄せください。お待ちしております。 E-mail:ondanka-t@city.hiroshima.lg.jp

(省エネ・節電関係の WEB サイト紹介)

多くの WEB サイトの中から参考となるリーフレット等を紹介します。(順不同)

- ・政府の節電ポータルサイト
<http://setsuden.go.jp/>
「夏季の節電メニュー」
- ・全国地球温暖化防止活動推進センター
<http://www.jccca.org/>
「家庭で取り組む節電マニュアル」
- ・省エネ家電フォーラム
<http://www.shouenekaden.com/>
「家庭の省エネ大事典」
「省エネ製品買替レダゲ-ヨルんきゅうさん」
- ・チャレンジ 25 キャンペーン
<http://www.challenge25.go.jp/index.html>
「みんなで節電アクション」
- ・脱温暖化センターひろしま
<http://www.kanhokyo.or.jp/ondan/ondan.html>
「家庭の省エネリーフ」
「家庭の省エネ診断」
- ・事業者のための CO2 削減対策 Navi(環境省)
<http://co2-portal.en.v.go.jp/>

